

1班 濃姫



濃姫とその夫である織田信長をイメージして、
現代風な2体を制作しました。

共通のこだわりは2つあります。

1つ目は、色合いを華やかにしたことです。

それは、新しいものが好きな信長が、

西洋文化を取り入れだしたことで、

これまでとは違った華やかな色合いを

身につけるようになったからです。

2つ目は、濃姫には、帰蝶という本当の名前もあるの

で、蝶々をリボンで表現したことです。

①-1



◆担当アイテム：トップス

◆使用素材：ウールフライス

◇制作について

濃姫が着ている着物のイメージの色は、淡いピンクでかわいらしい女性なので、ピンク色にして、さし色でタイダイ柄のオレンジを加えた。

服の形は、今時っぽいタートルネックにして体のラインが出る感じにした。

濃姫は、考察したときに、赤や、ピンクなど女性らしい写真がたくさん出てきて、ふんわりしているイメージだから濃いピンクじゃなくて、淡いピンクを一色に染めてから、いまどきっぽいタイダイ柄で濃いオレンジを入れることにした。

①-2



◆担当アイテム：プードルコート

◆使用素材：表地 ポリエステル 裏地 ポリエステルトロピカル

◇制作について

当時の高貴な身分の婦人が羽織っていた打掛にヒントを得て、前をボタンなどで閉じないロングコートを現代風にアレンジし、デザインした。

2022~2023 冬のファッショントレンドであるファーで立体感と女性らしさを表現した。

ベビーピンクからビビットピンクのグラデーションにしました。実はグラデーションという技術は奈良時代からあるので安土桃山時代にも使用されていた。ピンク色は女性が持つ柔らかさを引き出してくれることや、今期のトレンドカラーなので取り入れました。

①-3



◆担当アイテム：トップス

◆使用素材：キュプラタフタ

◇制作について

丈短めのトップスを作りました。袖部分は普通より少し広いデザインにした。そして、和っぽくしたかったので、前身を着物のようなデザインにして、サイドにリボンをつけた。全体がオレンジや黄色なので、リボンもオレンジ色にして統一感を出した。

濃姫は華やかなイメージがあったので、色は黄色とオレンジ色を使って明るい雰囲気にした。オレンジには社交的で親しみやすい雰囲気があり、黄色には希望や陽気な雰囲気があるので洋服をそう思ってもらえるように作りました。

①-4



◆担当アイテム：パンツ

◆使用素材：オックスフォード、綿ツイル

◇制作について

近世初期に、身分を問わず広く用いられ、江戸時代には武士が旅装として着用されていた、筒状の裾継ぎを付けた袴の一種であるカルサンをモチーフにして、現代風にカットアウトのパンツをデザインした。更にカルサンは裾幅が狭く作られていますが、裾を狭くせずにルーズ感を出すことで現代風を表した。

黄色は古代から皇帝の色とされていて、高貴な色の印象を与えます。

緑色は安心感や安定、調和を表す色とされていて、自然の色でもあるので気持ちを穏やかにし、心をリラックスさせてくれる色として使用されています。濃姫の高貴で貫禄のある性格を二色で表した。

①-6



◆担当アイテム：スカート

◆使用素材：綿ブロード

◇制作について

濃姫の上品さを、いま流行りのマーメイド・スカートで表現した。

女性らしさを出すために、花柄を施しました。また、濃姫が帰蝶とも呼ばれているので、蝶もデザインしました。染色性に優れている綿を使用し、きれいな色が入るように素材にもこだわりました。

濃姫は気の強い性格だったと言われていますが、若さや落ち着いた部分もあったのでそれらのイメージに合い、トレンドカラーである緑を選んだ。また、緑は中間色で、コーディネートバランスを整える効果もあるので使用した。

①-7



◆担当アイテム：帽子、鞆、ワイヤー

◆使用素材：帽子（表地：綿オックスフォード、裏地：綿金巾、蝶々：キュプラタフタ、ポリエステルオーガンジー）、ワイヤー（キュプラタフタ）。

◇制作について

濃姫は「帰蝶」と呼ばれていたため、リボンを制作し蝶々をイメージした。

ベレー帽は蝶々を華やかに表現したかったので、ポリエステルオーガンジーを使用して、躍動感を表現した。また、パールバックで現代感を表現した。

ベレー帽の色を黄色と紫の補色の関係の色を使用することで、お互いの彩度が増してより鮮やかになるように見せた。華やかさを表現したかったため、黄色と紫にした。ワイヤーの蝶々はアウターのプードルファーと色味を合わせ、少し落ち着いた紫を使用した。

①- 8



◆担当アイテム：ストール

◆使用素材：モスリンサテン

◇制作について

表裏でデザインを変え、グラデーションと格子柄にしました。濃姫のイメージ的に、派手なデザインよりシンプルなほうが濃姫っぽいと思ったので、グラデーションと格子柄にしました。

派手色すぎると目立ってしまうので、目立ちすぎない色にした。表裏でデザインを変えて、どちらの面も使えるようにしました。